

工事中の消防計画届出書

○○年○○月○○日			
○○消防署長 様			
防火管理者 住 所 帯広市西○○条南○丁目○番地 氏 名 ○○ ○○			
管理権原者 住 所 帯広市西○○条南○丁目○番地 氏 名 ○○○株式会社 代表取締役 ○○ ○○			
下記のとおり工事中の消防計画を作成したので届け出ます。			
記			
防火対象物	所在地	帯広市西○条南○○丁目○番地	
	名称	○○ビル	
	用途	物品販売店舗、事務所、ホテル (特定複合用途)	※ (16) 項イ
工事種別		用途変更	
工事期間		○○年○○月○○日から○○年○○月○○日	
工事概要		1階及び2階部分の用途変更工事(詳細は、別添平面図)	
工事監理	工事監理者の住所及び職・氏名	帯広市西○条南○丁目 (株)○○○建設 代表取締役 ○○ ○○	
	工事監督者の住所及び職・氏名	(株)○○○建設 工事課 主任 ○○ ○○	
工事施工	工事施工者の住所及び職・氏名	帯広市大通北○丁目 (有)○○工務店 代表取締役 ○○ ○○	
	現場監督者の住所及び職・氏名	(有)○○工務店 施設工事担当主任 ○○ ○○	
※ 受 付 欄		※ 経 過 欄	

備考

- 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 ※欄は、記入しないこと。
- 3 法人にあっては、その名称、代表者氏名及び主たる事務所の所在地を記入すること。

工 事 中 の 消 防 計 画

(その1)

防火対象物の概要	構 造	耐火 ・ 準耐火 ・ その他			
	階 数	地下 5階 ・ 地上 1階			
	面 積	延べ 3,259.25㎡			
	用 途	(16) 項イ			
	消防法上必要な設備	消火器、屋内消火栓設備、自動火災報知設備、非常放送設備、避難器具、誘導灯 ☆設置されている設備等を記入します。			
	建築基準法上の防災設備	屋外避難階段、非常用出入口、防火戸、防火シャッター ☆設置されている設備等を記入します。			
使用部分	階 数	地下 1階 ・ 地上 5階	工事部分	階 数	地下 階 ・ 地上 1、2階
	面 積	延べ 3,259.25㎡		面 積	延べ 1,550.00㎡
工事期間中に使用又は活用できないもの					
	工事期間及び時間	使用不能の施設・設備等の種別	箇 所	代替措置の概要	管理の方法
特殊消防設備等又は	〇〇年〇〇月〇日～〇〇年〇月〇日 (8:00～20:00)	・屋内消火栓 ・自動火災報知設備 ・非常放送設備 ・誘導灯 ・避難器具 ☆使用できない設備等を記入します。	1、2階店舗(〇〇ストア)改装部分 ☆工事部分の階・用途等を記入します。	1 消火器を○本増設 2 屋内消火栓のホースを増加する(1本) 3 誘導灯を移設し機能確保 4 避難梯子を移設し機能確保	1 警備員(〇〇)による巡回の監視体制を強化する(〇時間ごと) 2 機能を停止する時間は必要最小限にし、管理責任者(〇〇)との連絡を密にする
避難施設	〇〇年〇〇月〇日～〇〇年〇月〇日 (8:00～20:00)	屋外避難階段(北側)	1、2階店舗(〇〇ストア)改装部分	1 屋内階段及び避難器具による二方向避難を確保する 2 避難表示等の位置変更	1 避難等に際し障害となる資材等が置かれていないか随時確認し、巡回時に更に確認する 2 避難経路図を設け避難経路について周知徹底する
非常用出入口					
工事部分及び使用部分の防火区画の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・不燃プラスターボードによる区画を行う ・区画が困難な場所は、工事中用防火シートによる区画を行う ・火花を発する器具等を使用する場合は、工事中用防火シートを使用する 				

工事に伴う火気及び火災発生のおそれがあるもの				
	種 類	量	集積又は設置方法	管 理 の 方 法
火 気 設 備	<ul style="list-style-type: none"> ・アセチレン溶接機 ・トーチランプ ・電気溶接機 <p>☆火を使用する器具等を記入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2 台 ・ 3 個 ・ 2 台 <p>☆各数量を記入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定場所に集積する ・ 周囲の整理清掃を行う ・ 引火性等の物品のない場所で行う ・ 使用の都度搬入する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用時は消火器を設置する ・ 工事用防災シートを使用し、可燃性床面等を保護する ・ 作業後、残火の点検をする
危 険 物	<ul style="list-style-type: none"> ・ 灯油（第4類 第2石油類） ・ シンナー（第4類 第2石油類） ・ 塗料（第4類 第3石油類） <p>☆危険物の類、品名等を記入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 400 ・ 200 ・ 2000 <p>☆一日に取扱う数量を記入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一時保管場所に集積する ・ 1日に使用する分のみ搬入する ・ 残った分は搬出する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険物は工事現場内に常時保管しない ・ 責任者を表示し、作業時は立会いの上監視を行う ・ 火気厳禁、喫煙禁止等を徹底する ・ 換気を十分に行う
資 材	<ul style="list-style-type: none"> ・ 合板 ・ じゅうたん等 ・ 壁用クロス等 ・ 発泡ウレタン <p>☆可燃性の資材等を記入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 200枚 ・ 20本 ・ 30本 ・ 500 m³ <p>☆各数量を記入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定場所に集積する ・ 1日に使用する分のみ搬入する ・ 残った分は防災シートで覆う ・ 周囲の整理清掃を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 責任者を表示する ・ 火気使用時には火気使用場所から移動する ・ 高積みしない ・ 管理状況が適切か十分な確認を行う
機 械 器 具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 丸鋸 ・ サンダー ・ 高速カッター ・ 電気ドリル <p>☆火花を発する器具等を記入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2台 ・ 2台 ・ 1台 ・ 5台 <p>☆各数量を記入します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定場所に保管する ・ 周囲の整理清掃を行う ・ 引火性等の物品のないところで行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用時は消火器を設置する ・ 工事用防災シートを使用し、可燃性床面等を保護する ・ 作業後、十分点検をする

